



あの日を、忘れない。

心は正直だ。悲しいことは、時に忘れたいくなる。

でも忘れようとしても忘れられないこと、忘れてはいけないことがあります。

2011年3月11日。その日付は、日本中の人たちの胸に刻まれています。

あれから、一刻も早い復興をと、多くの手が差し伸べられました。

人は自分一人で生きているのではない。そのことを、多くの人が実感したこの四年間。

人と人はつながって、互いに支え合って初めて生きていける。

そのことを、もう一度心に刻むために、一人ひとりが手を差し伸べ合い、

心をひとつにして、絆を深めていきましょう。それこそが農業協同組合・JA共済の理念。

これまでも、そしてこれからも、地域のための貢献を、将来のための保障を、

それぞれの手でこつこつと。丁寧に。

 **JA共済**